



大会名：岩手県 U-8 / U-10 補欠ゼロリーグ
 主催：(社)岩手県サッカー協会
 主管：(社)岩手県サッカー協会 キッズ委員会 / 各地区担当
 内容：小学校 1～4 年生 (U-8 / U-10) の子どもたちに「定期的に試合ができる環境」を整えていく取り組みで、補欠選手を作らないようにチーム分けをして、全員がスターティングメンバーでフル出場できるリーグ戦

花巻地区 U-8 補欠ゼロリーグ ～第1節～

花巻地区目的：様々な遊びやゲームを通じ、市内小学 1・2 年生の児童にスポーツサッカーの楽しさを伝えるとともに、積極性を育み、児童間の交流を深めることを目的とする。

日時：2009 年 5 月 16 日 (土) 9:00～11:00
 会場：花巻市スポーツキャンプむら C ピッチ
 参加：43 名 (1 年生 12 名 2 年生 31 名 / 花巻、湯本、矢沢、南城、宮野目、銀河、大迫)

運営統括：阿部 睦春 (県協会キッズ委員会 / 花巻地区担当責任者)
 サポートスタッフ：大迫地区、南城、矢沢、石鳥谷、花巻銀河、県協会

【オープン前のスタッフ打ち合わせ】



【全員でアイスブレイク、様々な遊び】



【試合のようす】



奥の方に見えるのは、大きいコートでの「スタッフ VS 1 年生」



【ピッチサイドの応援ゾーン】



【用具片付けを手伝ってくれている保護者の方々】



実施内容.....

体操、準備運動

アイスブレイク()、様々な遊び「仲間集まり、しっぽ取り、ムカデ型しっぽ取り」など

(休憩)

ボールフィーリング、ボールタッチ

(休憩)

- ゲーム
 - ・ 4～5人の9チーム (1年生3チーム、2年生6チーム)
 - ・ 5コート (1年生・・・スモールコート×1、大きいコート×1 *大きいコートではスタッフチームと対決)
 - (2年生・・・スモールコート×3)
 - ・ 4分ゲーム

アイスブレイク

文字通り、固い氷をこわす(溶かす)ように、参加者の緊張をほぐして抵抗感をなくすために行う「コミュニケーション促進エクササイズ」のこと。イベントの冒頭などで行います。注目・意識を引き付ける効果もあります。

【サッカー教室での例】

- ・ 司会コーチ VS 子供で普通にジャンケンぼん。次は、あと出しジャンケンぼん・ぼん「司会コーチに勝ちなさい or 負けなさい」
- ・ 仲間集まり「同じ誕生日で集まれ、履いているサッカーシューズのメーカーが同じ人で3人組になれ」 などなど

活動を終えて.....

- ・ 今年度1回目ということもあって、最初1年生の中にはなかなか溶け込むことができない子もいましたが、次第に溶け込むようになり、児童間のコミュニケーションがとれました。
- ・ 最後に感想で約9割の子供達が「楽しかった」との感想がありました。中には「もっと試合をしたかった」との声も多かったので、次回以降はもう少し試合の時間を設けたいと思います。
- ・ 多くのスタッフの方々にご協力いただき、準備やゲームのコート作りが迅速に進み、予定のタイムスケジュールで進めることができました。

【運営統括】 阿部 睦春 (県協会キッズ委員会 / 花巻地区担当責任者)

- ・ 子供たちは今日のサッカーを楽しみにしていたようで、開会式が始まる前からとても元気でした。
- ・ ゼロリーグに来るのが初めての1年生には、スタッフがやさしく声をかけてリードしていました。
- ・ 用具片付けには、多くの保護者の方々にご協力いただきました。ミニゴールの解体は慣れていないとむずかしいのですが、一生懸命お手伝いいただき、ありがとうございました。
「関わる」「協力する」という姿を、今後も花巻の子供たちに見せていっていただきたいです。

【報告者】 鎌澤 和之 (県協会キッズ委員会 / 補欠ゼロリーグ担当)